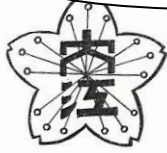


昨日は先生方が「リモートで行う道徳の授業」について自主研修会を行っていました。いつまた休校・リモート授業になるかもしれません。先生方は最悪を想定し「リモート授業」でも質の高い授業を目指しています。うちの職員は私から言うのもなんですが、いつも子どもたちのことを考え主体的に学び、えらいなあと思います。



大江の風

8月26日
No.81

♪あといくつ寝ると新学期♪宿題終わったかい？終わってなくても31日学校においでよ。まずはみんなに笑顔で会いたいです。

【重要】2学期から的大江の教育活動について その②

24日、職員会議をしました。2学期の行事や教育活動について、いつもよりうんと慎重に、また臨機応変に対応できるように、みんなで知恵を出し合いました。

2 10月22日（木）ハートフルコンサートについて

子どもたちがとっても楽しみにしている「ハートフルコンサート」。どうしたらできるのかを話し合いました。まず、本校の音楽会は、保護者のご協力で県立劇場をお借りして、毎年行っています。小学生の時に、あの立派なコンサートホールの舞台上に立ち、表現することの楽しさを全員が経験できること、大江小ならではの幸せです。6年生にとっては、最後のハートフルコンサート。ぜひ大江小の思い出の一つに加えたいです。

今、熊本市・熊本県のリスクレベル4特別警報の状態です。それで、今コンサートホールの収容人数は、900人以下と制限があります。また文科省の指導にもあるように、学年で合唱の練習をすることのリスクは高すぎます。そこで、次のような工夫をします。『① 本年度は、合唱の発表をしない。② 基本クラス単位の発表にする。4クラスある1～4年は2クラス合同で行ってもよい。③ 無観客。子どもたちは1つ開けて椅子に座り鑑賞する。』です。

①については、合唱については感染リスクが高く、また日々、大きな声で歌うという練習ができません。そこで、感染拡大防止に最大の注意をはらいながら、合奏を中心にした発表ができればと思います。笛や鍵盤ハーモニカからの飛沫がかからないように並び方も熟考し、工夫していきます。

②の各クラス単位にしたのは、練習や発表で密にならないようにするためです。人数が少ないので、いつものような大迫力の演奏にはならないかもしれません。でも考えようによっては、子どもたちには、プラスだと思えます。集団を小さくすることで、多くの楽器にたくさんの子どもたちがふれることができます。例えば1学年全員で合奏していた時には、ピアノはたった一人でしたが、クラスごとだったら、ピアノ演奏の子どもの数が増えます。木琴も太鼓も、子どもたちに人気の楽器担当が増えることになります。また、演奏人数が少ないので、全体に埋もれることもなく、自分の演奏に責任をもって取り組まなければなりません。一人一人のがんばり・活躍が、際立つのです。

③の無観客は、収容人数に制限がある以上しかたがありません。お家の方々や来賓の方々は、入場できません。ごめんなさい。そこで、各家庭にライブ配信やDVDの作成等、父母と教師の会執行部の皆様に協力をお願いしよう

と思っています。今流行りの、リモートコンサートです。

これから先、どういう状況に変化していくかわかりませんが、現時点では①～③のようにやり方を工夫して、ぜひハートフルコンサートを県立劇場で実施したいと思っています。状況が悪化し、県立劇場も使えない状況になりましたら、学校の体育館で各クラスの演奏を個別に録画し、DVD作成だけはしたいと思っています。何卒保護者の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



昨年の4年生の合奏です。みんな衣装も決まっちゃっいいね。



昨年のハートフルコンサート。みんないきいきしていましたね。なつかし～～い♡

